

3 最終需要による生産誘発

先にも述べましたが、全ての生産活動は、最終需要を満たすために行われています。つまりは、全ての生産活動は最終需要によって誘発されると言えます。このように、ある産業に生じた最終需要を賄うために、各産業で直接・間接に必要となる生産額を生産誘発額といいます。

このことから、平成23年の県内生産額7兆3,199億円は、最終需要6兆3,315億円により誘発されたと考えられます。これを、最終需要の項目別にみると、移輸出が全体の約半数を占める3兆9,019億円と最も多くの生産を誘発していることが解ります。次いで民間消費支出が1兆7,414億円、一般政府消費支出が9,342億円などとなっています。（表23）

表23 最終需要と生産誘発

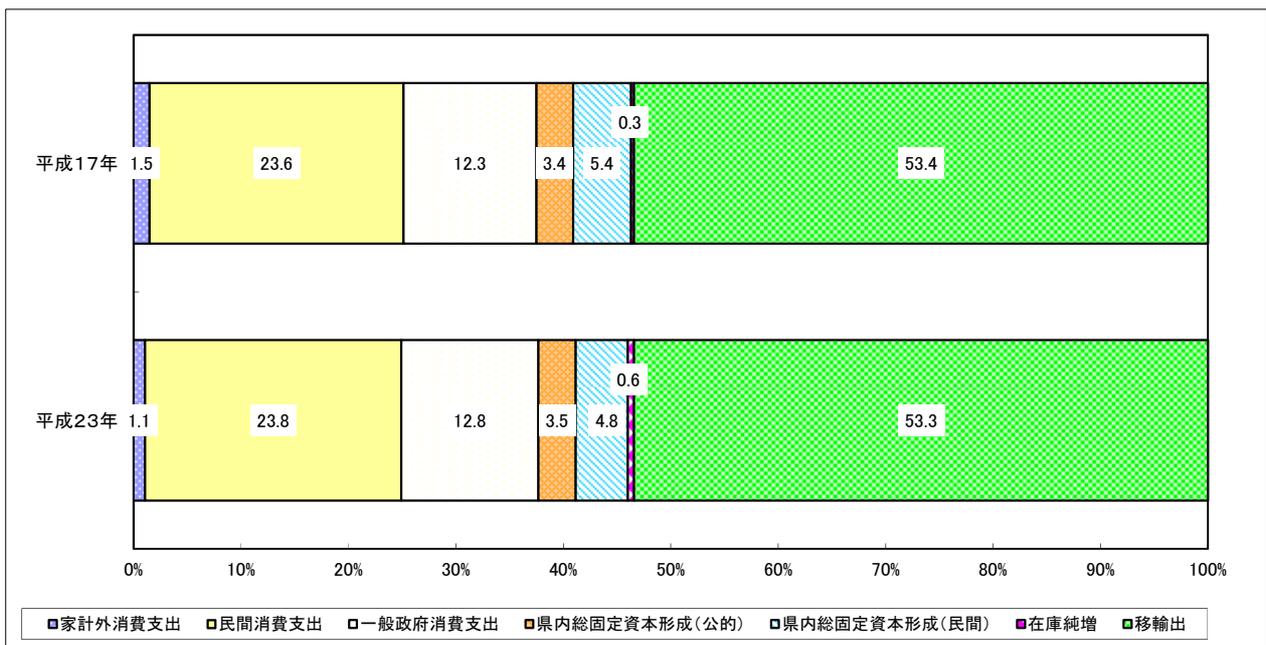
		生産誘発額(百万円)		生産誘発依存度(%)		生産誘発係数	
		平成23年	平成17年	平成23年	平成17年	平成23年	平成17年
和歌山県	家計外消費支出	78,110	105,678	1.1	1.5	0.878539	0.798544
	民間消費支出	1,741,446	1,670,937	23.8	23.6	0.850031	0.821652
	一般政府消費支出	934,205	872,292	12.8	12.3	1.226290	1.202958
	県内総固定資本形成(公的)	254,637	243,043	3.5	3.4	1.252422	1.265890
	県内総固定資本形成(民間)	352,210	380,317	4.8	5.4	0.782888	0.802785
	在庫純増	44,069	19,484	0.6	0.3	0.695024	3.230072
	移輸出	3,901,865	3,775,392	53.3	53.4	1.441855	1.408975
	最終需要計	7,319,939	7,067,143	100.0	100.0	1.156113	1.132120

(注) 最終需要計には調整項を含みます。なお、平成17年の移輸出には調整項を含みます。

次に、各産業部門の生産が、どの最終需要項目によりどれだけ誘発されたかの割合を示している生産誘発依存度をみると、上記で述べているように移輸出が53.3%と全体の半数以上を占めていることから、本県の経済は県外の需要に多くを依存していることが解ります。

また、他の項目では、家計外消費支出と県内総固定資本形成(民間)を除く項目の占める割合が増加していることが、下の図18から読みとれます。

図18 最終需要項目別生産誘発依存度

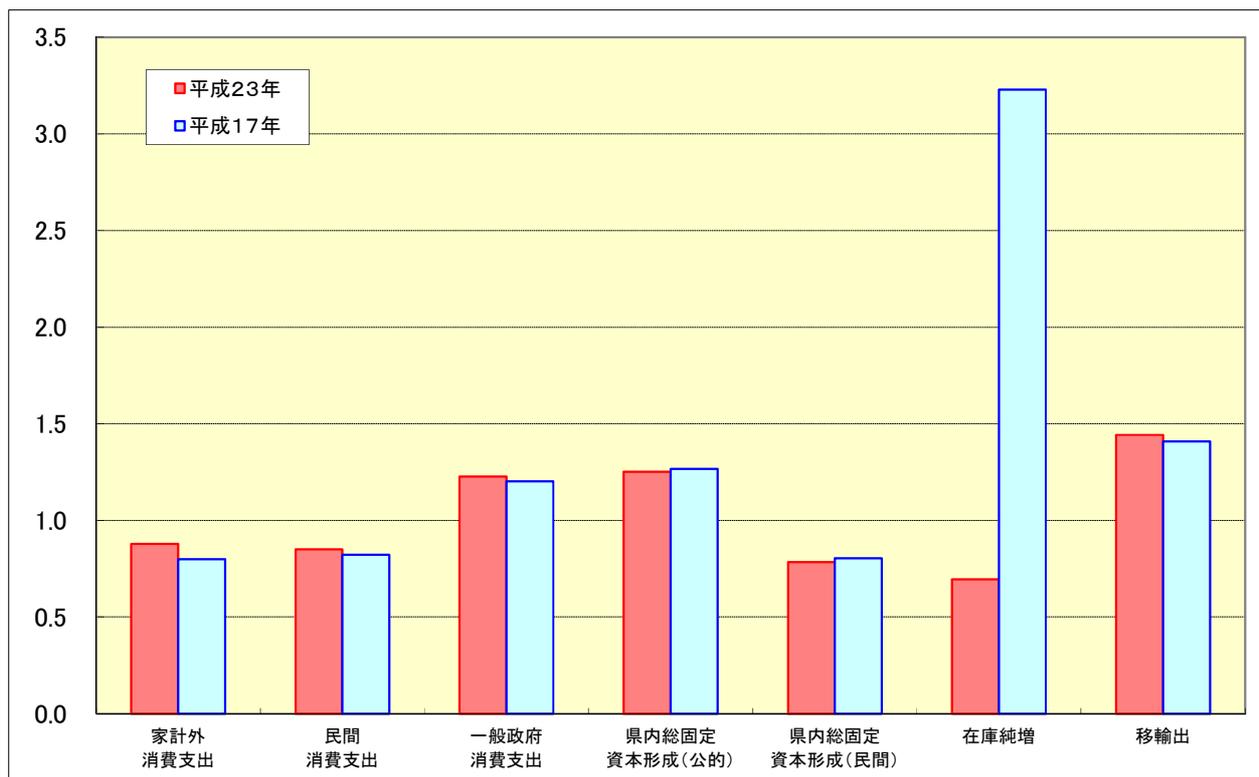


また、1単位の最終需要によって、県内生産がどれだけ誘発されるかを示している生産誘発係数を最終需要項目別にみてみます。

移輸出が最も高く 1.441855 倍となっており、次いで、県内総固定資本形成（公的）が高く 1.252422 倍となっています。また、他に 1 倍を上回る高い値を示しているのは、一般政府消費支出の 1.226290 倍となっています。一方、値の低い家計外消費支出や民間消費支出などは、需要の県外流出が多いことから、誘発の度合いが相対的に低いのが特徴です。

平成17年からみると、全体的には若干上昇の傾向であり、平成23年の最終需要全体では 1.156113 倍となっています。これは、1単位の需要があった場合に、約 1.2 単位の生産が行われることを示しています。（表 23、図 19）

図19 最終需要項目別生産誘発係数



解 説

生産誘発額 … 最終需要項目別生産誘発額合計＝県内生産額

生産誘発依存度 … 生産誘発依存度＝各最終需要項目別生産誘発額÷最終需要項目別生産誘発額合計

生産誘発係数 … 生産誘発係数＝各最終需要項目別生産誘発額÷各項目別最終需要額